

心 理 学 科

心 理 学 科

平成27年度入学者対象（学生番号「1215・・・」）

<卒業に必要な単位数>

科目区分		単位数	
必修科目	専門教育科目	24	28単位
	外国語科目	4	
選択必修科目	専門教育科目	40	62単位以上
	共通教育科目	20	
	健康ｽﾎﾟｰﾂ科目	2	
選択科目	専門教育科目	34単位以上	
	共通教育科目		
	外国語科目		
	健康ｽﾎﾟｰﾂ科目		
	他学科開設科目		
	教職・資格関係科目		
合計		124単位以上	

心理学科

心理学科は、認知、社会、発達、臨床の多領域にわたる専門的知識を習得し、人々の心を探求し、自己をとりまく環境をより豊かにしていくための役割を担える人材の育成を目標としています。本学科では、認知心理学、社会心理学、発達心理学、臨床心理学の各領域に属する科目群を編成しています。認知心理学領域では、知覚・認知、記憶、学習、思考・言語、など人間の心のメカニズムを知り、実験的方法によって行動を理解する能力を育成します。社会心理学領域では、社会や文化という観点から、人と人の関係を理解し、社会的活動を行う能力を育成します。発達心理学領域では、胎児から始まる人間の心理的発達について学習し、人の成長を理解する能力を育成します。臨床心理学領域では、多様な社会生活から起こる人間の問題解決に役立つ知識と技能の習得を図り、生きる力を支える能力を育成します。

1年次では、基礎的教育科目で心理学的基礎知識を学び、2年次では心理学的基礎技術を学び、3・4年次の専門的教育科目では、心理学的専門能力や心理学的統合力を養います。このように基礎をもとに段階的に専門的知識を積み重ね、応用する技術を習得していきます。

認知心理学領域…（心のメカニズムを知る）知覚・認知、記憶、学習、思考・言語、感情など人間のこころの基礎的機能に関するメカニズムを追求し、実験的方法によって行動を理解する能力を育成します。

社会心理学領域…（人と人との関係を理解する）社会や文化という観点から、社会構造、人間関係、個人特性等の本質についての正しい理解を図り、社会的活動をおこなう能力を育成します。

発達心理学領域…（人の成長を理解する）人間の出生時よりの心理的発達についての学習を通じて発達のメカニズムの理解と発達援助を適切に行う能力を育成します。

臨床心理学領域…（生きる力を支える）多様な社会生活から起こる人間の問題解決に役立つ知識と技能の習得を図り、実社会で活用することのできる能力を育成します。

※卒業必要単位数のうち、3年次終了までに、修得合計単位数が86単位に満たない者は、4年次において「卒業見込証明書」は交付されません。

○必修科目

①基礎実験演習(1)

実験演習に必ず参加し、指示に従ってレポートを提出しなければなりません。

学年の初め、もしくは前年度の終了までにクラス分けを行いますので、掲示等に注意してください。

やむを得ない事情で単位の修得ができなかった場合は、学年の始めの所定の期間内に学科の指示を受けなければなりません。この手続きを行わないで履修しても単位の修得は認められません。

②心理学演習

履修前に予備登録を行います。受講者数の上限は、原則として各クラス20名までとします。

やむを得ない事情で単位の修得ができなかった場合は、次年度以降、学科の指示を受け履修しなければなりません。

③特殊研究

特殊研究は、卒業論文作成のため、学生各人の専攻となります。選定した研究テーマについての文献の選択と取り扱い、実験あるいは調査の計画・実施方法等に関して、助言・指導・批判を与えることにより、その成果を図る目的で設置された授業科目です。指導教員は、学科で決定します。

④卒業論文

学生は、卒業にあたって大学における学術研究の総まとめとして卒業論文を提出し、その評価を受けなければなりません。

この論文を作成することによって、初めて自分の学問領域を確立し、将来の進路の基盤を決定することになります。

この重要性を十分に理解し、積極的な研究と指導を受け、その成果を挙げるのが大切です。

特殊研究と卒業論文は、同時に履修しなければなりません。

○選択必修科目

発達心理学領域、社会心理学領域、臨床心理学領域、認知心理学領域の科目履修のめやすについては、別ページの心理学履修モデルを参考にしてください。

①心理学の基礎的知識を幅広く学び、心理学のさまざまな研究方法を理解するために、以下の科目を指定の年次に従い早めに履修することが望ましい。

- ・基礎実験演習(2)
- ・実験心理学概論(1)(2)
- ・社会心理学概論(1)(2)
- ・発達心理学概論(1)(2)
- ・臨床心理学概論(1)(2)
- ・心理学研究法
- ・心理調査法
- ・心理査定法(1)(2)

②心理アセスメント実習、特殊実験演習

臨床心理学領域履修者は、心理アセスメント実習を履修することが望ましい。また、発達心理学領域、社会心理学領域、認知心理学領域履修者は、特殊実験演習を履修することが望ましい。

心理アセスメント実習、特殊実験演習の履修希望者は、2年次に行うガイダンスに必ず出席し、予備登録を行わなければなりません。

③臨床心理学実習

臨床心理学領域履修者のうち、専門職を目指す人のための科目です。そのため、他の実習科目等と開講時間が重複することがあります。

実習内容は、年度および履修人数により異なりますので、3年次に行うガイダンスに必ず出席してください。学外実習を行う場合は、夏期休業および冬期休業期間に行います。

○選択科目

・心理学科専門教育科目の選択必修科目、共通教育科目、外国語科目、健康スポーツ科目から34単位以上を修得しなければなりません。

(ただし、他学科開設科目、教職・資格関係科目を修得した場合は、その単位数を含めることができます。)

・教職課程履修者は、教職課程の教科に関する専門教育科目を含むので、心理学科専門教育科目一覧および教職課程の履修方法を参照し、履修してください。

専門教育科目一覧表（必修）

科目名	単位	期間	年次	公民	副専攻	他学科生への開放	備考
基礎ゼミナル	2	半期	1			×	予備登録科目 予備登録科目 予備登録科目
心理学概論(1)	2	半期	1	●		×	
心理学概論(2)	2	半期	1	○		×	
心理統計法(1)	2	半期	1			×	
基礎実験演習(1)	2	半期	2			×	
心理学演習	4	通年	3			×	
特殊研究	4	通年	4			×	
卒業論文	6	通年	4			×	

専門教育科目一覧表（選択必修）

科目名	単位	期間	年次	公民	副専攻	他学科生への開放	備考
心理統計法(2)	2	半期	1			×	40単位以上
基礎実験演習(2) <i>分析と表現</i>	2	半期	2			×	
心理学研究法	2	半期	2			×	
心理調査法	2	半期	2			×	
心理調査概論	2	半期	2			×	予備登録科目 予備登録科目 予備登録科目
心理査定法(1)	2	半期	2			×	
心理査定法(2)	2	半期	2			×	
特殊実験演習	2	通年	3			×	
心理テスト実習	2	通年	3			×	
臨床心理学実習	2	通年	4			×	
発達心理学概論(1)	2	半期	2	○	生	○	
発達心理学概論(2)	2	半期	2	○	生	○	
社会心理学概論(1)	2	半期	2	○		○	
社会心理学概論(2)	2	半期	2	○		○	
臨床心理学概論(1)	2	半期	2	○	生	○	
臨床心理学概論(2)	2	半期	2	○	生	○	
実験心理学概論(1)	2	半期	1	○		○	
実験心理学概論(2)	2	半期	1	○		○	
乳幼児・育児心理学	2	半期	3			×	
生涯発達心理学	2	半期	3			×	
医療心理学	2	半期	3			×	
神経心理学	2	半期	3			×	
児童心理学	2	半期	2	○		○	
青年心理学	2	半期	2			○	
学校心理学	2	半期	2			○	
コミュニケーション論	2	半期	2			○	
対人関係論	2	半期	2			○	
精神医学	2	半期	2		生	○	
医学概論	2	半期	2		生	○	
学習心理学	2	半期	2			○	
生理心理学	2	半期	2			○	
発達臨床心理学	2	半期	3	○	生	○	
障害児心理学	2	半期	3		生	○	
組織心理学	2	半期	3	○		○	
集団心理学	2	半期	3	○		○	
カウンセリング特論	2	半期	3			×	
深層心理学特論	2	半期	3			×	
犯罪心理学	2	半期	3	○		○	
認知心理学	2	半期	3	○		○	
知覚心理学	2	半期	3			○	
心理情報処理実習	2	通年	3			×	
社会調査法実習	2	通年	3			×	

心理療法各論Ⅰ	2	半期	3			×
心理療法各論Ⅱ	2	半期	3			×
心理療法各論Ⅲ	2	半期	3			×

専門教育科目一覧表（選択）

科目名	単位	期間	年次	公民	副専攻	他学科生への開放	備考
日本史(1)	2	半期	1～3			○	
日本史(2)	2	半期	1～3			○	
世界史(1)	2	半期	1～3		地	○	
世界史(2)	2	半期	1～3		地	○	
法学概論(1)(国際法を含む)	2	半期	2～3	●		○	
法学概論(2)(国際法を含む)	2	半期	2～3	○		○	
政治学概論(1)(国際政治を含む)	2	半期	2～3	●		○	
政治学概論(2)(国際政治を含む)	2	半期	2～3	○		○	
社会学概論(1)	2	半期	2～3	●	地	○	
社会学概論(2)	2	半期	2～3	○	地	○	
経済学概論(1)(国際経済を含む)	2	半期	2～3	●		○	
経済学概論(2)(国際経済を含む)	2	半期	2～3	○		○	
哲学概論(1)	2	半期	2～3	●		○	
哲学概論(2)	2	半期	2～3	○		○	
倫理学(1)	2	半期	2～3	●		○	
倫理学(2)	2	半期	2～3	○		○	

注) 選択科目は、専門教育科目の選択必修科目及び選択科目、共通教育科目、外国語科目、健康スポーツ科目、他学科開設科目、教職・資格関係科目等から34単位以上修得しなければなりません。

<科目一覧表の見方> (●:必修科目 / ○:選択科目)

- ・公民 … 教育職員免許状高等学校一種「公民」の教科に関する科目
- ・副専攻 … 日:日本語教員養成コース、女:女性・社会コース、生:生命・健康コース、芸:芸術コース、地:地域研究コースに関する科目

詳細については、後頁の教職課程・資格・副専攻を参照してください。

心理学科 履修モデル

人材育成目標	認知、社会、発達、臨床の多領域にわたる専門的知識を習得し、人々の心を探求し、自己をとりまき環境をより豊かにしていくための役割を担える人材の育成。			
目標達成に必要な能力	科学的思考力	対人関係力	心理学的支援力	
	認知心理学 (心のメカニズムを知る)	社会心理学 (人と人との関係を理解する)	発達心理学 (人の成長を理解する)	臨床心理学 (生きる力を支える)
心理学的統合力	卒業論文 特殊研究 心理学演習			
専門的教育科目 (3・4年次)	組織心理学 集団心理学	乳幼児・育児心理学 生涯発達心理学 発達臨床心理学 障害児心理学	医療心理学 神経心理学 カウンセリング特論 深層心理学特論 犯罪心理学 心理療法各論 I II III	キャリア・プランニング IV (1) (2) 心理アセスメント実習 臨床心理学実習 組織心理学 集団心理学
	心理情報処理実習	社会調査法実習	臨床心理学実習	
基礎的教育科目 (2年次)	実験心理学概論 (1) (2) 認知心理学 知覚心理学 学習心理学 生理心理学	社会心理学概論 (1) (2) コミュニケーション論 対人関係論	発達心理学概論 (1) (2) 児童心理学 青年心理学 学校心理学	キャリア・プランニング II (1) (2) キャリア・プランニング III (1) (2) 実験心理学概論 (1) (2) 社会心理学概論 (1) (2) 臨床心理学概論 (1) (2) 発達心理学概論 (1) (2)
	心理学的基礎技術	心理査定法 (1) (2) 心理調査法 心理調査概論 心理学研究法	基礎実験演習 (1) (2)	
基礎的教育科目 (1年次)	基礎ゼミナール			
	心理学的基礎知識	心理学概論 (1) (2) 心理学統計法 (1) (2)		キャリア・プランニング I ライフ・プランニング